

市の財政状況をお知らせします

市では、財政の運営状況や各会計の予算執行状況を年2回、公表しています。今号では、平成22年度決算状況および平成23年9月30日現在の平成23年度予算執行状況をお知らせします。

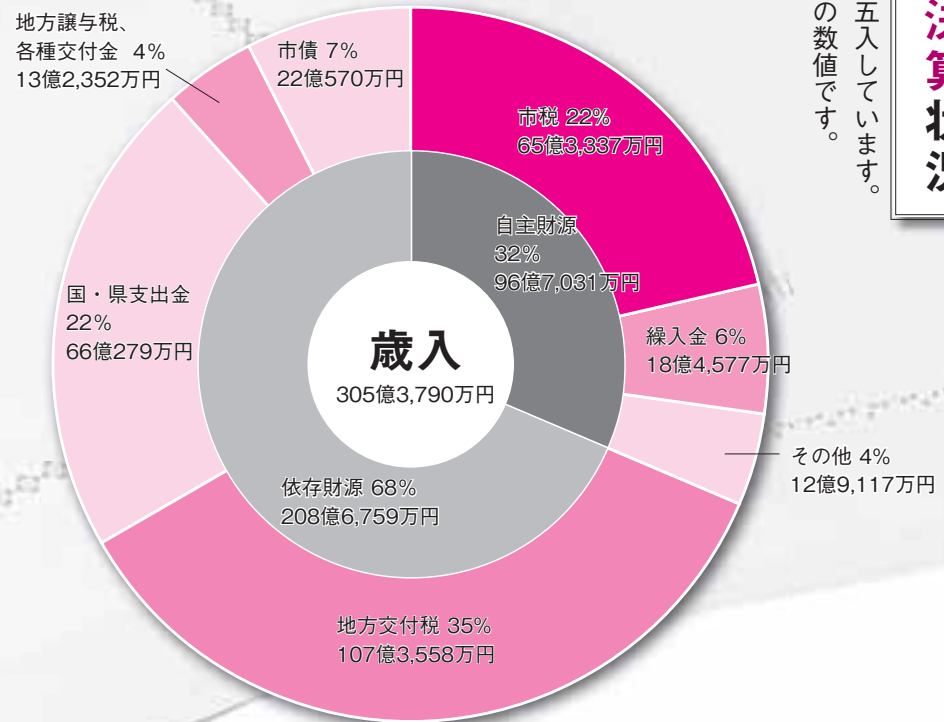
平成22年度決算状況

※1万円未満は四捨五入しています。
()内は前年度の数値です。

財政局課財政係 ☎6713

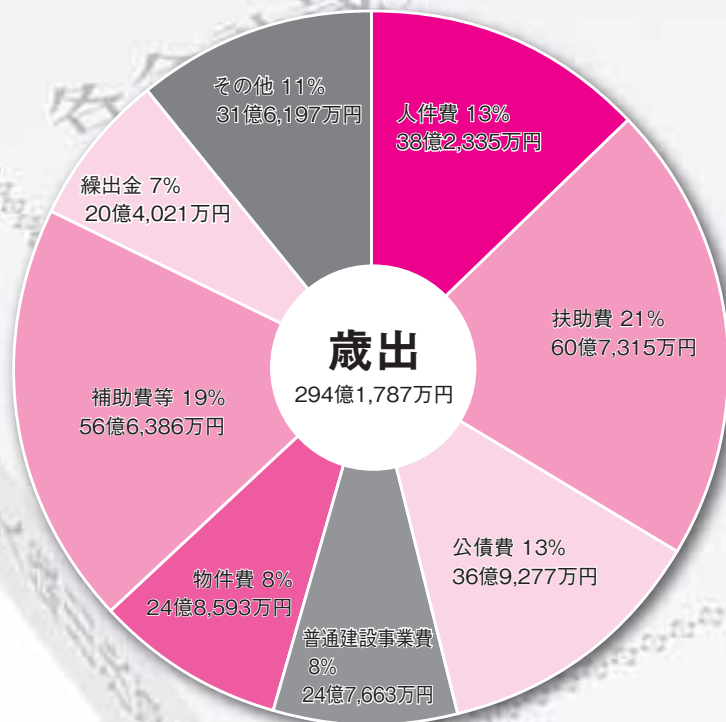
歳入 305億3,790万円 (295億4,581万円)

基金現在高 56億6,935万円 (53億8,773万円)



歳出 294億1,787万円 (281億7,310万円)

市債現在高 353億4,667万円 (362億5,111万円)



用語の説明

- 市税 ▶ 市民税や固定資産税など、皆さんに納めていただいた税金
- 繰入金 ▶ 基金を取り崩したお金
- 地方交付税 ▶ 人口や財政状況に応じて、国から交付されたお金
- 国・県支出金 ▶ 特定の工事や事業のために交付されたお金
- 地方譲与税・各種交付金 ▶ 国税として徴収された特定の税金（地方揮発油税など）から市に割り当てられたお金など
- 自主財源 ▶ 市税など市が自主的に確保できた収入
- 依存財源 ▶ 国や県の意思で交付されたり、割り当てられたりした収入
- 扶助費 ▶ 生活保護や児童扶養手当、障害者への介護サービスなどに使われたお金
- 公債費 ▶ 市が借り入れたお金の返済に使われたお金
- 物件費 ▶ 市の仕事に必要な消耗品、備品、光熱水費などに使われたお金
- 補助費等 ▶ 各種団体などへの負担金や、企業会計への補助などに使われたお金
- 繰入金 ▶ 特別会計の事務費などの補助に使われたお金



家計簿に例えると

平成22年度の一般会計決算を日本の1世帯当たりの平均所得550万円の家計簿に例えると次のとおりになります。（厚生労働省「平成22年国民生活基礎調査」参考）

収入内訳		550万円		支出内訳		530万円	
給料	市税	118万円		食費	人件費	69万円	
パート収入	使用料、手数料など	12万円		光熱水費	物件費	45万円	
親からの援助	地方交付税、国・県支出金など	336万円		医療費	扶助費	109万円	
借金	市債	40万円		仕送り	補助費等、繰入金	139万円	
預金引出	繰入金	33万円		家の改築など	普通建設事業費	45万円	
その他	財産収入、寄附金など	11万円		借金の返済	公債費	66万円	
				その他	維持補修費、出資金など	57万円	
預金残高	基金残高	102万円		借金残高	市債残高	637万円	

収入では、給料（市税）とパート収入（使用料など）を合わせても収入全体の3割に満たず、6割を親からの援助（地方交付税、国・県支出金など）が占めています。

支出では、仕送り（補助費等）や医療費（扶助費）、借金の返済（公債費）で半分以上を占めています。そのため、家の改築など（普通建設事業費）を抑えるなどしてやりくりをしています。

550万円の所得に預金残高102万円を合わせた652万円と同じくらいの637万円の借金が残っています。



市税と歳出を市民1人当たり、1世帯当たりになると

市税	市民1人当たり…	99,452円 (101,512円)
	1世帯当たり…	244,512円 (251,677円)
歳出	市民1人当たり…	447,801円 (427,825円)
	1世帯当たり…	1,100,968円 (1,060,694円)

平成23年3月31日現在の人口65,694人、世帯数26,720世帯で算出

企業会計

会計	収入	支出	市債残高	
病院事業	収益的	76億6,944万円	87億7,926万円	159億6,372万円
	資本的	18億3,689万円	7億4,228万円	
水道事業	収益的	15億8,673万円	15億3,716万円	99億7,944万円
	資本的	3,445万円	7億8,876万円	
下水道事業	収益的	19億8,941万円	22億881万円	245億1,309万円
	資本的	14億7,645万円	22億2,829万円	

※収益的とは運営面にかかるもの、資本的とは設備面にかかるものです。

特別会計

会計	歳入	歳出
国民健康保険事業	79億1,064万円	75億931万円
地方卸売市場事業	3,612万円	2,390万円
老人保健	1,258万円	1,258万円
後期高齢者医療	4億9,784万円	4億8,606万円
介護保険事業	56億8,599万円	54億3,389万円
温泉事業	4,002万円	3,363万円